

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	交通安全市民大会開催費			
担当課係名	環境防災 課	交通防災 係	作成者	石川一幸
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ
	基本計画	交通安全の推進と交通環境の整備		
	主要施策	交通安全教育の推進		90
予算費目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務費	8 目 交通防犯対策費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分		継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	無			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民及び交通安全推進団体
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	子どもと高齢者の交通事故防止及び飲酒運転の撲滅を目的に市民の交通安全意識の高揚を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	交通安全啓発劇発表のほか、交通安全功労者に対する表彰などを行う。

【事務事業の推移】

	項 目		単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
	効果	活動指標	参加人員	目標	人	200	200
実績				人	200	200	190
達成度				%	100.0%	100.0%	95.0%
成果指標		仙北市管内事故発生件数 (目標は前年度件数)	目標	件	137	106	92
			実績	件	106	92	74
			達成度	%	77.4%	86.8%	80.4%
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			116	106	121	
	人 件 費 (B)			807	793	806	
	職 員 数			0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費			8,071	7,925	8,057	
	(A) + (B) 投下コスト			923	899	927	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	0	0
		県 支 出 金			0	0	0
		地 方 債			0	0	0
		そ の 他			0	0	0
		一 般 財 源			923	899	927
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			4,615	4,495	4,879	
	市民1人当たりのコスト(円)			29	29	30	

【事務事業の今までの成果】

市民の交通安全意識の高揚と交通安全推進団体の士気高揚が図られ、交通安全運動の盛り上がりと交通事故抑止につながった。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	不明
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
D	A 現状のまま継続（実施）	今のままでは、マンネリ化しており今後開催については検討が必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

未定

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 2	市民の安全、安心を確保するため、交通安全に対する意識の高揚は必要であり、抜本的な見直しの上継続すべきと考えます。

